

県・市合同危険箇所状況視察

5/20

梅 雨の時期を前に、県や市、関係機関が市内の危険箇所の状況を視察しました。

今年から、県と市が合同で実施し、土砂災害や大雨に備えるため、徳泉川内町の急傾斜地と、東野岳町のため池を視察。現地で、関係機関から説明を受けながら災害対策を考えました。



←東野岳町の御伊勢堂ため池を視察する一行

大雨などの災害に備えて

鉄道建設・運輸施設整備支援機構へ要望

5/16

新 幹線新大村(仮称)駅舎のデザインコンセプトを、鉄道運輸機構へ要望しました。

これは、県建築士会大村支部から提案があったもので、コンセプトを「豊かな自然と歴史・文化が響きあい未来へつながる駅」と設定。これを基に同機構がデザイン案を作成し、市に提示する予定です。



←鉄道運輸機構に要望書を手渡す園田市長

駅舎のデザインコンセプトを要望

大規模災害時復興支援協定調印式

5/23

県 土地家屋調査士会と市との間で、大規模な災害発生時に家屋の被害認定などを支援する協定を締結しました。調印式で園田市長は、「災害への備えが大切であることを、熊本地震で再認識した。協定締結はありがたい。」とあいさつ。今後、連携を深めていくことを確認しました。



←針本会長と協定書をお交わしました

大規模災害に備え、体制を強化

住民主導型地域活性化事業成果報告会

5/18

地 域を活性させるため、住民の皆さんで考え、取り組む活動に市が支援する「住民主導型地域活性化事業」の成果報告会を市コミセンで開催しました。各地区の発表者が、昨年度に取り組んだ事業を報告。出席した皆さんは、ほかの地域の特徴ある活動報告に、真剣に耳を傾けていました。



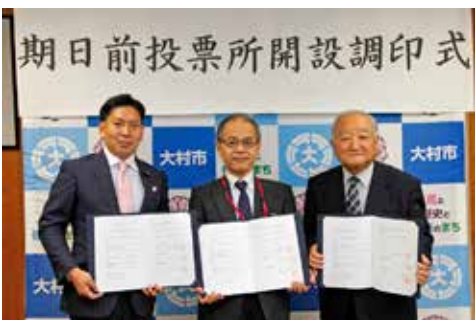
←各地区の発表者が2年間の活動を報告。

地域の特性を生かした活動を報告

期日前投票所開設調印式

6/6

イ オン大村ショッピングセンターとの間で、期日前投票所を設置する協定を締結しました。これまで、期日前投票は市役所だけで受け付けていましたが、この夏の参院選から新たに郡コミセンと同センターの2か所を増設。特に、若い世代の投票を促すきっかけとなるよう期待しています。



←野尻店長(写真中央)と協定書をお交わしました

イオン大村に期日前投票所を設置

票育授業

5/19

夏 の参院選から選挙権年齢が18歳に引き下げられるのを前に、市選管は大村工業高校で票育授業を開催しました。若者に選挙への関心を高めてもらおうと、NPO法人「僕らの一歩が日本を変える。」と連携し授業を実施。生徒たちは、模擬投票などを体験しながら、選挙の大切さを学びました。



←模擬投票を行う大村工業高校の生徒

若者の選挙への関心を高めるために